

脚本アーカイブズ シンポジウム 2024

作品を支える脚本の魅力とは

—文化を伝える放送脚本・台本を未来へ—

◆第1部 座談会

「オリジナル脚本の魅力とは」

野木 亜紀子 (脚本家)

羽原 大介 (脚本家)

[司会]

中町 綾子 (日本大学芸術学部教授)



野木 亜紀子



羽原 大介



中町 綾子

◆第2部 パネルディスカッション

「アーカイブの現在・過去・未来 ～脚本アーカイブが目指すもの～」

横手市増田まんが美術館 館長

大石 卓

神戸映画資料館 支配人

田中 範子

日本動画協会 事務局次長 / アニメ東京ステーション担当

山脇 壮介

放送番組センター 専務理事

斎藤 信吾

福井 健策 (弁護士 / 日本大学芸術学部 客員教授)

[司会]

吉見 俊哉 (國學院大學教授 / 東京大学名誉教授)



大石 卓



田中 範子



山脇 壮介



斎藤 信吾



福井 健策



吉見 俊哉

参加無料・事前予約制

2024 **2/18** 日 13:30～17:00

オンライン開催

お申し込み

日本脚本アーカイブズ推進コンソーシアム HP 参加フォームから
<https://www.nkac.jp> > シンポジウム申込

Tel: 03-5210-7029 / FAX: 03-5210-7021



主催：文化庁 / 一般社団法人 日本脚本アーカイブズ推進コンソーシアム

後援：国立国会図書館 / NHK / 日本民間放送連盟 / 日本脚本家連盟 /

日本シナリオ作家協会 / 日本放送作家協会 / 放送番組センター / 放送文化基金



文化庁委託事業 令和5年度放送番組の脚本・台本のアーカイブ構築に関する調査研究